



ゲストスピーカーは Katherine Russell さん。5 月に Lightning のテーマで話してくれた Michael さんの奥様です。New Mexico の Socorro から今年 1 月に来日。歴史、民俗学、音楽、旅行、編み物が大好き人間の今日のタイトルは“**The First Americans**” アメリカ人の若い女性がまたなんで **Native American** について話してくれるのか、その内容は？興味津々です。その **Culture, History, Influence** を説明する前に **Why Fire Belongs to Man** という神話から。

アメリカンインディアンはたくさんの種族が居て、それぞれが色々な物語を持っています。これはその中のひとつのお話です。

もともと「火」は「熊」の家来でした。ある日、ふたりは森に入りました。お腹のすいた熊は木の実や野イチゴを食べ始めました。とてもおいしくて夢中になって食べ、「火」をほったらかしてどんどん奥へ行ってしまいます。「火」はひとり残されておなかもぺこぺこ。そこへ「人」がやってきて、お腹をすかせている「火」に木を食べさせてあげました。「火」は喜び、大きく元気になり、シアワセ～。

そこへ「熊」が戻ってきて「さあ、ここを出発だあ。ついてこい。」と言いますが、火は「あなたは私をほったらかして、自分だけいっぱい食べましたね。でも人は私に食べ物をくれました。これからは人について行きます」と。こうして「火」はそれ以来「人」にのみ従うのです。

Culture さて本題に。部族は沢山ありますが大別すると 4 つのタイプに分けられます。地形、気候、生活様式の違いから当然住居の形も異なる。

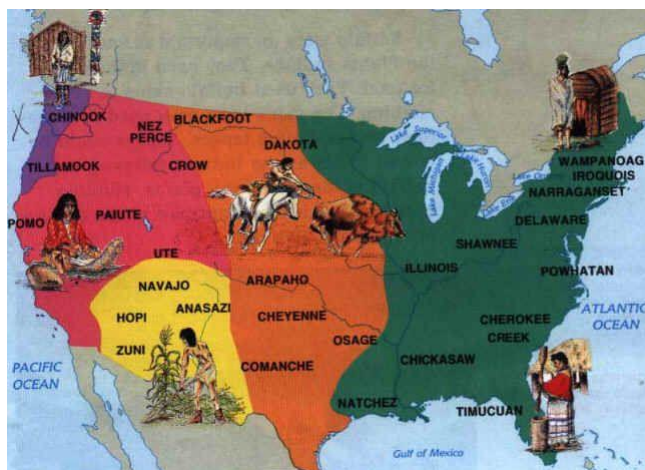
まずは**中央部**の広大な平原ではバイソン、バッファローを追う狩猟生活で Teepee というテントで暮らし、時期によっては農業生活。

南西部は山と砂漠が多く農業中心、adobe clay で作られたプエブロ住居生活。現在でもナバホ族はおなじみ。

南東部は温暖な気候と豊かな土地に恵まれた地域、The Iroquois と呼ばれ longhouse に住み建築、農業、

医療技術も長けていたがヨーロッパ人の圧力によって砂漠地帯のあちこちに転々と。

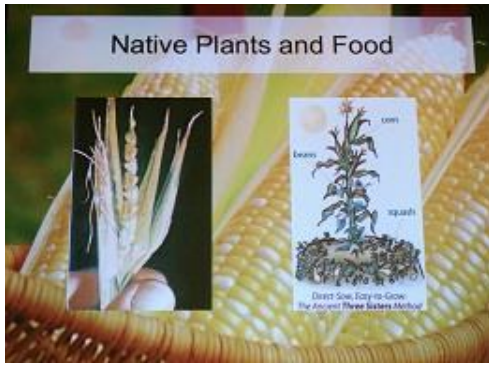
カリフォルニアからワシントンに至る**森林地帯**では狩猟、漁業、農業も盛ん、どんぐりや木の実も豊富でしたがこちらも追われて散り散りに、特にゴールドラッシュで壊滅的になったそうです。この地域の北部、北西部では Totem poles が特筆されます。



彼らの生活基盤である宗教は日本の神道に似ており“全てのものに精霊が宿っている”という事です。右の wheel は彼らの世界観を表すもので東西南北、家族、動物、四季、土水風火等を意味します。色や形は部族ごとに違います。

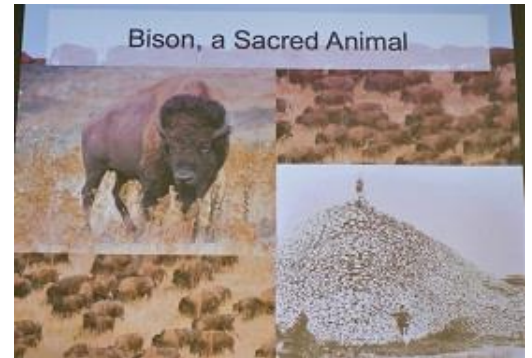


右はナバホ族の聖なる山 Shiprock、無論何人たりとも立ち入り禁止。ところで彼らの三大食物と言えば



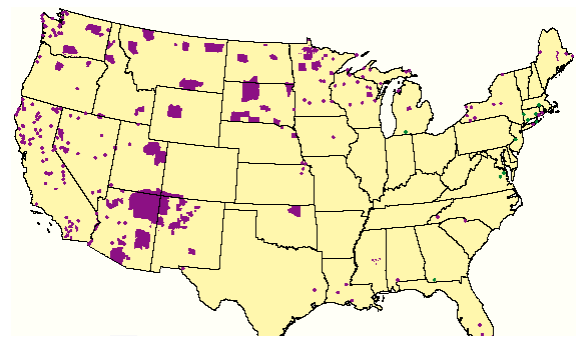
とうもろこし、豆類、スクワッシュ。また主な動物は鹿、七面鳥、ダック、スカンク、ラクーン、コヨーテ等などですが牛、羊、犬の他 何と言っても聖なるアニマル **Bison, Buffalo** です。

でも 1860 年に 1500 万頭いたものがわずか 20 年後何と 2 千頭までに減少、殺し尽くされ絶滅の危機を向えました。住居 Teepee をカバーしたり衣類になったり無くてはならない物だったのに。



History

日本のアイヌとナバホに意外と多くの共通性があります。言語面でも宗教面でも、共にクマが神聖な動物ですよ。どなたか深く研究してみては？コロンブス到来後、動植物と一緒に病気も持ち込み免疫のない彼らの 90%は死亡、Squanto という若者がイギリスに誘拐され、帰国した 5 年後彼の部族は絶滅していたそう。また肥沃な地を追われ不毛の居留地に追いやられました。ご存知オクラホマへのチェロキー涙の行進等々です。また Boarding School 制度、“Kill the Indian, save the man”もひどい話。右は現在の居留地区マップです。



改宗を強制され収入も少なく何よりも言語を失われる事は全てに面で大遅れとなります。

でもこのような人物もいました。**Sequoyah** は 1,821 年に独力でチェロキー文字を創造した人物。その意図は、チェロキー語での読み書きを可能にすることであった。彼の発明は、文字を持たない民族の一員が実用性のある文字体系を独力で作り出した、歴史上唯一の例である。

Influence

アメリカの州名、都市名、地名に **Native American** から来たものが予想以上にたくさんあります。姉妹都市のミネアポリスだってそうでしょう。またファッション界では特に 70 年代多くの影響を与えました。ヘアスタイル、バンダナ、モカシンシューズ等々。スターウォーズでさえも。





Q&A

- "Sacred mountain"と言われたが、どのように崇拝するのですか？→Sacred mountain は数多くあり、場所によって儀式のやり方は違うが、通常はフィジカルに、即ち、歌ったり踊ったり、豊穡の祈りを捧げたりする。
- New Mexico の Socorro (ソコロ) に住んでおられるそうですが、ソコロの語源は？→元々ネイティブアメリカンのプエブロ族が住んでいたが、入植してきたスペイン人に食物をあげたりして援助した。“ソコロ”はスペイン語で”help”を意味する。
- ネイティブアメリカンはタトゥーをするが、今はアメリカで人気があると思う。何故？→今は勿論、犯罪者のイメージはなく、ファッション/装飾の感覚だと思う。
- なぜネイティブアメリカンに興味を持ったのか？→ナバホ自治区（シップロックがある）の近くで生まれ、子供の頃から彼らの文化・風習に溶け込んでいた。母も居留地で英語を教えていた。やがて東海岸に移ったが、そこではネイティブアメリカンのことを知る人は少なく、もっと皆に知ってほしいと思った。
- ドリームキャッチャーは、先程の wheel と似ているが？→wheel は東西南北の方角など宗教的な意味を持つが、ドリームキャッチャーはくもの巣状で、枕元に置いて眠っている子供を悪夢から守ってくれるもので、全く別のもの。悪い夢は絡みとってくれます。
- wheel の東は太陽を表すようだが、他の方角は？→部族によって違うので正確には分からないが、南は night/darkness、北は cold を表すことが多いと思う。
- 日本には恵方があるが？→その年の方角という考え方は良く分かる。病気を治すときに、医者がある病状により決まった方角を向いて祈る部族もある。
- 子供たちは学校でネイティブアメリカンの歴史（本当にあったこと）を学ぶ？→アメリカは州によって教える内容が違い、ニューメキシコでは学校である程度学ぶ。東海岸では過去のことはあまり語らず、多くの人々がネイティブアメリカンに対して偏見やネガティブな印象を持っている。
- ご主人 Micheal さんのお話：私はワシントン育ちで妻はニューメキシコ育ちだが、どちらもネイティブアメリカンは多い。ワシントンでは街の名前など多くはネイティブの言語なのにに対し、ニューメキシコではスペイン語。私たちは小さい時に居留地等を訪れたり、学校にト





ーテムポールがあつたりして彼らの文化を多く受け入れている。だが、ニューメキシコに長く住む人はネイティブアメリカンに対し不信感を抱いていると思う。

- ネイティブアメリカンに必要なのは教育であり、政府が彼らに資金援助をしていると聞いたが？→教育は非常に大事だと思う。居留地内に学校を建て、自分達の言語だけでなく数学や科学等を教える動きも出ている。成果は少しずつ現れていると思う。→以前「ネイティブアメリカンの教え」という本が日本で人気があつた。
- 教育の問題はネイティブアメリカンだけではないのでは？→ネイティブアメリカンの人口は非常に少ないので、他のアメリカ人に比べて援助の機会も少ないと思う。low education→no jobs→poverty/drugs の悪循環は、彼らの方がより深刻なのでは。
- ネイティブアメリカンと日本人は顔が似ていると友達から聞いたことがある。→アラスカでネイティブアメリカンを研究している私の日本人の友達も同じことを言っていた。
- ネイティブアメリカンで幸福と感じる人は何パーセント？他のアメリカ人は？→居留地に住む人は普通に幸せに暮らしていると思うが、閉塞感、憂鬱感があると思う。若者の自殺率は国の平均に比べて2倍だと聞いている。

(WASP の友人がしみじみと言っていました。俺たちアメリカ白人は後悔し反省すべき二つの点がある。それは African American と Native American に対する対応だ。そうですね。Katherine さん、お疲れ様でした。)